

第1学年 道徳学習指導案

平成15年10月

第4校時 1年生教室

指導者 大木教諭

1 思いやり <2-②>

2 主題設定の理由

- (1) 学級は男子2名、女子1名からなる少人数学級である。全体的におとなしく、何事にもまじめに取り組む雰囲気がある。お互いやさしい気持ちを持ちあわせているため、自分の意見を言わないで、常に相手の顔色をうかがいながら牽制しあうことが多い。お互いの気持ちを考えてのことと思われる反面、自分の意志を伝えることを大変苦手としている。文化祭や音楽会等の行事に関連して、今回の授業がお互いを知ったうえで、思いやりの気持ちを持ちながらプラスの方向に積極的に関わりあうための1つの方法になってほしいと考える。
- (2) 本題材として取り上げた『自分の取扱説明書』は、AFPYの考え方をベースにした活動である。グループで何かを作り上げる体験を通じてお互いの意見に耳を傾け、よりよい人間関係を構築する技術や態度の学習を図ろうとするものである。また、体験後の「ふりかえり」を大切にしていることも特色の1つであり、楽しみながらもカウンセリング的要素を含んでいるため、自己や他者への気づきが深まることも期待できる。体験活動の内容は、自分を適切に扱うための方策を仲間と考え作り出していくものである。お互いを正しく理解し、いろいろな接し方を『自分の取扱説明書』上に具体的にあらわし、授業後にも実践するだけでなく、その内容を深く掘り下げて、取扱説明書に書かれた対処法がほんとうに、その人のためになることなのかを考えさせることで、ほんとうの思いやりについて考えることができる活動である。
- (3) 指導にあたっては、『自分の取扱説明書』を“自分の心”を正しく(安全)に扱うためのメタファー(暗喩)として使っていきたい。体験的な道徳にするために、目的に応じた話し合い活動をおこない、生徒の言動を十分に吸い上げたい。また、指示はできるだけ少なくすることで、生徒達による活動になるようにしたい。『自分の取扱説明書』に書かれている対処法について、お互いが深く考えることにより、思いやりのある人への接し方について、しっかり考えさせたい。

3 総合単元的学習の構想

道徳(9月1時間)	いい日旅立ち<愛校心>	学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくろうと努力する態度を育てる。
小中合同運動会(9月中旬)		
学活(10月1時間)	『自分の取扱説明書』づくり	自己理解・相互理解を深め、仲間とのよりよい関わり方を考える。自分を再認識し、他者を見つめる。
道徳(10月1時間)	『自分の取扱説明書』を考える <思いやり>	取扱説明書に書かれた内容を見て、仲間とのよりよい関わり方を深く考えることで、思いやりの心を育てる。
道徳(10月1時間)	夜のくだもの屋 <感謝・思いやり>	人は支え合って生きていることを自覚し、思いやり分かち合う心情を養う。
文化祭(11月上旬)		
道徳(11月1時間)	募金箱 <集団生活の向上>	集団の一員として、その役割と責任を自覚し協力し合って集団生活を向上させていこうとする意欲を育てる。
音楽会(11月中旬)		

※ AFPY…Adventure Friendship Program in Yamaguchi

OBS や PA の教育手法をもとに県独自のプログラムとして開発しているもの。

4 本時の指導と生徒の活動

- (1) 題材名 『自分の取扱説明書』を考える
- (2) 本時のねらい

『自分の取扱説明書』に書かれたお互いの対処法を、深く考えることを通して、仲間とのよりよい関わり方を再考し、お互いの立場を尊重し合う思いやりの態度を養う。

(3) 研究主題との関連

『自分の取扱説明書』づくりを通して、自分をよく知り、相手をよく知ることができるであろう。そして、仲間とのよりよい関わり方を考えることで、思いやりの心を育てることは、集団の中で他者との関わりを意識して主体的に活動ができるようになることにつながるであろう。

(4) 学習課程

学習内容・活動	教師の支援及び留意点
<p>1 ゲーム「ロボットとコントローラー」をする。 活動後、それぞれの立場と、気持ちについて振り返る。 ○どんな気持ちになった？ ○ そんなとき、どうしてもらいたい？</p> <p>2 お互いの取扱説明書を読んで考える。 ○ 自分にとって、人にそのように接してもらおうと都合がいいのはなぜだろう(その逆も)？ ・ 気持ちが楽になる。 ・ 自分に歯止めがかかる。 ・ 無意識の自分に気づきを与えてくれる。</p> <p>○取扱説明書に書かれてある対処法は、本当にその人ためになる対処法なのかな？ ・ ひょっとしたら、その人を甘やかす対処法になっているかも。 ・ いつもそのように対処してもらおうことが、その人にとって一番いいことなのかな。</p> <p>3 必要に応じて、取扱説明書に修正を加えていく。 ○ 相手のために、そして自分のために、本当にしたほうがいい対処法ってどんなもの？ ・ こういうふうにしたほうが、本当は、この人のためになるんじゃない？ ・</p> <p>4 対処法を考え直すときに、一番意識したことを考える。 ○自分が成長できるための自分への対処法、友だちが成長できるための友だちへの対処法を考え直したとき、何が一番大切だったか？</p> <p>5 感想を書く。</p>	<p>○雰囲気づくり ゲームの説明をする。 楽しくゲームをする中で、親和的な雰囲気を作り、自分の気持ち、お互いの気持ちを考え、伝えるきっかけを作る。</p> <p>学級活動で作った『自分の取扱説明書』を準備しておく。 人によって感じ方や、その人がしてもらいたい対処法に違いがあることを、再認識させたい。</p> <p>いつも対処法に書かれた対応をすることが、最善ではないことにも気付かせたい。</p> <p>お互いの意見交換の中で対処法の再考をさせたい。</p> <p>なぜ、そのように対処法を変えたのかを、よく押さえさせたい。</p> <p>人への接し方、自分へ接してもらおうときに、何が一番大切なのかをしっかりと考えさせたい。 (相手のことを本当に考えての対処法へ、取扱説明書を、バージョンアップさせる)</p>

(5) 評価

- ・ 取扱説明書の中に書かれてある対処法が、その人にとって本当によい対処法であるか？ということについて真剣に考えることができたか？
- ・ 友達に対して一番よいと思われる自分の行動を、考えて実行しようとする態度が育ったか？